

平成27年度地方創生先行型交付金事業の効果検証について

(1) 実施事業 実施事業：20事業 交付金額：184,190千円

- ・ 出雲空港名古屋便利用促進事業
- ・ 子育て世代への新広報事業
- ・ 食と観光連携推進事業
- ・ 売れる産品作り振興事業
- ・ Ruby プログラミング人材発掘事業
- ・ 地域産業活性化支援事業
- ・ 茶の湯文化を中心とする観光振興事業
- ・ 外国人滞在型観光促進事業
- ・ 結婚お祝い事業
- ・ まつえ「子ども夢☆未来」プロジェクト事業
- ・ 私立保育所保育士確保対策事業費補助金
- ・ 要配慮者支援組織設置推進事業
- ・ こうのとり縁結び事業
- ・ 看護師等緊急人材育成事業
- ・ 中海・宍道湖・大山圏域観光振興プロジェクト
- ・ 大学進出促進事業費補助金
- ・ 子どもの学力育成応援プロジェクト
- ・ 中海レガッタ開催事業
- ・ 松江市観光案内アプリ機能向上補助金
- ・ 行政マネジメントシステム構築事業

(2) 事業効果

事業効果	事業数	割合
1. 地方創生に非常に効果的であった	10事業	50%
2. 地方創生に相当程度効果的であった	7事業	35%
3. 地方創生に効果があった	3事業	15%
4. 地方創生に対して効果がなかった	—	—
合計	20事業	—

【事業効果】

1. 地方創生に非常に効果的であった ⇒ 指標が目標値を上回った
2. 地方創生に相当程度効果があった ⇒ 目標値の7割～8割を達成した
3. 地方創生に効果があった ⇒ 目標値を上回ることにはなかったものの事業開始よりも改善した
4. 地方創生に効果がなかった ⇒ 実績値が事業開始前より悪化した

番号	事業名	事業内容	事業費 (円)	交付金充 当額(円)	本事業終了後における実績値(H28.3.31時点)			実績値を踏まえた事業の今後について(平成28年度～)	
					目標値	実績値	事業効果	今後の方針	説明
1	出雲空港名古屋便 利用促進事業	松江市をはじめとする本圏域の観光振興や産業振興の重要な基盤となる国内航空路線のうち、新規に就航が決定した名古屋路線の利用を伸ばすための各種対策事業を行い、島根県と中京圏のビジネス、観光を中心とした交流を活性化させ、地域経済の発展を図る。 ・旅行商品造成支援 ・チラシ、ポスター作成 ・メディア媒体によるPR	3,484,000	3,162,000	利用率65%以上	70.4%	1. 地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	目標値を相当程度達成しており、一定の効果があつたものと分析している。7月から2往復化するため、路線の認知度を更に高めビジネス利用を促すためのPR活動を行っていく。
2	子育て世代への新 広報事業	子育て世代への支援として、また、市民とともに創りあげる”共創のまちづくりプロジェクト”の一環として、子育て世代のためのフリーペーパー(無料情報紙)等を作成し、市の子育て情報を一元化、支援施策を効果的にPRする。従来の枠にとらわれない新たな広報手段で、子育て世代の市政への関心を高める。	2,000,000	1,633,000	①発行部数3万部 ②発行回数2回	①3万部 ②2回	1. 地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる	30,000部では行き渡らないほど希望者が多い。松江市民のみならず、県外のUIターン希望者にも好評。今後はSNSでの情報発信などに力を入れる。
3	茶の湯文化を中心 とする観光振興事 業	[不味公茶の湯スタジオ形成事業] 松江ならではのまちなみ等を活かした新しい茶席の設置等、新たに取り組む観光誘客事業へ支援するため、(公財)松江市観光振興公社に対し運営費補助として補助金を交付する。 ・春のお堀端茶席 ・松江城大茶会 [松平不味公200年祭開催経費] 2018年に松平不味公没後200年を迎えるにあたっての取り組みとなる200年祭にむけた実施計画やPR活動に対して支援するため、不味公200年祭記念事業推進委員会に対して補助金を交付する。 ・実行委員会にて基本計画を策定 ・公式ホームページの制作	8,599,820	6,804,000	①観光入込客数1000万人 ②宿泊客250万人	①1006万人 ②209万人	2. 地方創生に相当程度効果があつた	追加等更に発展させる	2018年に松平不味公の没後200年を迎えるにあたって、松江ならではの茶の湯文化をさらに発展させ、国宝松江城の情報発信と合わせて、観光誘客事業を推進させる。
4	外国人滞在型観光 促進事業	本市の主要産業である観光産業のうち、特に外国人観光客誘致の観点から、多くの外国人観光客を旅館・ホテルに宿泊できるよう促すため、宿泊費の一部を支援するもの ・松江市内に一泊以上宿泊する団体ツアーを企画する旅行会社に対して1人一泊当たり2,000円を補助	10,915,740	4,452,000	外国人観光入込客数 7万人以上	87,307人	1. 地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる	貸切バス代の高騰などの影響でツアー代が上がっているため、宿泊補助金を交付することで松江市内の宿泊施設に送客するツアーの実施を促進する。
5	Rubyプログラミング 人材発掘事業	授業で使う教材(ソフトウェア(スモウルビー)、アクチュエータ(自走式ロボット))を導入することで、Ruby授業が実施できる環境を構築する。	3,520,908	3,195,000	市内中学校での Ruby授業の実施校:7校	8校	1. 地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	Rubyプログラミング人材のすそ野を広げる上で、中学校教育段階でRubyに触れる機会を提供することが非常に有効である。継続して実施を行っていく。
6	地域産業活性化支 援事業	【松江市地域産業活性化新製品・新技術開発支援事業補助金】 市内中小企業者の競争力の強化と新ビジネスの創出を図るため、意欲ある中小企業者又は企業グループが実施する新製品・新技術開発の取組み又は地域のモデルとなるITシステム開発の取組みに対し補助金を交付する。	4,143,580	3,469,000	①試作品開発の案件:3件 ②実用化製品化の案件:1件	①1件 ②1件	2. 地方創生に相当程度効果があつた	事業の継続	中小製造業企業において、新製品・新技術開発による自社製品・技術の保有は、脱下請を図る上で有効である。継続して実施を行っていく。

事業効果: 1. 地方創生に非常に効果的であった⇒指標が目標値を上回った 2. 地方創生に相当程度効果があつた⇒目標値の7割～8割を達成した
3. 地方創生に効果があつた⇒目標値を上回ることにはなかつたものの事業開始よりも改善した 4. 地方創生に効果がなかつた⇒実績値が事業開始前より悪化した

番号	事業名	事業内容	事業費 (円)	交付金充 当額(円)	本事業終了後における実績値(H28.3.31時点)			実績値を踏まえた事業の今後について(平成28年度～)	
					目標値	実績値	事業効果	今後の方針	説明
7	食と観光連携推進事業	松江産農水産物の販売促進と観光を連携させ大消費地での販売の拡大と、誘客による松江市内での松江産品の販売、消費拡大を図る。 ・東京4か所で展示販売の実施 ・東京のレストラン・居酒屋で地酒・地ビール、松江産食材を利用した料理の提供	2,200,000	1,848,000	来場者数 2000人/日	3,000人	1. 地方創生に非常に効果的であった	事業内容の見直し(改善)	今後、美肌をテーマにプロモーションを実施し、知名度向上による誘客と「買いたくなるいいもの」などブラッシュアップを進めながら販路開拓に取り組む。
8	売れる産品作り振興事業	松江の特産品の開発、生産、販売の拡大を図るもの ・そばの収穫にかかる助成、効率の高い生産に対する助成、出荷に対する助成。 ・松江の伝統的な野菜の振興に対する助成 ・加工原料、地産地消産品の生産拡大、特産品の開発を図る助成 ・柿の販売の強化に係る費用の助成	29,669,231	24,926,000	①そば 60t ②津田カブ出荷本数34万本 ③柿 販売額97百万円	①99t ②34万5千本 ③77百万	2. 地方創生に相当程度効果があった	事業の継続	生産量の拡大・安定を実現することにより、特産品の計画的な更なる販路拡大を図る。
9	結婚祝い事業	松江市に婚姻届を提出された方を市を挙げてお祝いし、松江市の魅力をPRすることで定住推進・少子化対策に結び付けていく。 ・結婚生活ガイドブック作成: 結婚後の手続きや子育て関連等の市の施策を紹介するガイドブックを作成。 ・写真撮影用パネル設置: 婚姻届提出というイベントを記念に残す写真撮影用パネルを設置する。	1,139,760	1,034,000	ガイドブック等配布数 約1000件	403件	3. 地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	アンケート調査等を実施し、婚姻届提出者が求める内容に応え、また各種制度の変更に対応するように「Zutto」の内容の改訂を行い、定住促進、出生数の増加につなげる。
10	私立保育所保育士確保対策事業費補助金	配置基準を超えて保育士を雇用した保育所に対する支援を行う。保育士の雇用に要する経費を、雇用開始から6か月、月額180千円を上限とし補助する。	40,952,885	37,158,000	①雇用者数40人 ②待機児童者数対H26年度比50%(削減)	①45人 ②13%減	2. 地方創生に相当程度効果があった	追加等更に発展させる	年度中途の待機児童解消に向け、私立保育所の協力を得ながら、積極的に保育士確保について取り組んでいく。
11	要配慮者支援組織設置推進事業	要配慮者(独居高齢者、障がい者等支援が必要な人)が、安心・安全に暮らせるよう、生活支援だけでなく、日常の見守り活動や災害対応を行う「要配慮者支援組織」を地区ごとに組織し、その立ち上げ支援を行うもの。	4,200,000	3,528,000	設置組織数 35組織	28組織	2. 地方創生に相当程度効果があった	事業内容の見直し(改善)	平成35年度に松江市の町内会・自治会加入率(約70%)の組織世帯率を目標としており、今後も事業内容の見直し(補助金額の見直し)を行い、事業を継続していく。
12	こうのとり縁結び事業	産科、婦人科、産婦人科、泌尿器科又は皮膚泌尿器科を標榜する医療機関で行った保険適用の不妊治療及び検査、人工授精を行った費用に対して、1年間につき4万5千円を上限として助成を行う。	8,121,797	7,369,000	助成人数390人	349人	2. 地方創生に相当程度効果があった	事業の継続	治療費の経済的負担軽減につながり、今後も継続する
13	看護師等緊急人材育成事業	【看護師等養成所運営事業】 看護師等養成所(専修学校)の運営を支援し、養成所機能の強化と、地元へ貢献する人材の確保を確実にする。 【看護師等養成所施設整備事業】 養成所の看護学科学生の定員増加に対応するため、施設整備に対し補助を行う。	39,004,000	32,768,000	看護学科の入所 定員数拡充40→60名	60名	1. 地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	定員拡大のための施設整備については終了。山陰圏域の医療福祉職場に従事する人材の育成自体は、今後も継続的に取り組んでいく。

事業効果: 1. 地方創生に非常に効果的であった⇒指標が目標値を上回った 2. 地方創生に相当程度効果があった⇒目標値の7割～8割を達成した
3. 地方創生に効果があった⇒目標値を上回ることはなかったものの事業開始よりも改善した 4. 地方創生に効果がなかった⇒実績値が事業開始前より悪化した

番号	事業名	事業内容	事業費 (円)	交付金充 当額(円)	本事業終了後における実績値(H28.3.31時点)			実績値を踏まえた事業の今後について(平成28年度～)	
					目標値	実績値	事業効果	今後の方針	説明
14	まつえ「子ども夢☆未来」プロジェクト事業	国際文化観光都市である松江市の次代を担う子どもたちに対して、確かな学力を身につけさせるとともにふるさとに愛着と誇りをもつ人材を育成することを目指し、子どもたちが主体的に取り組む「新たな学びの創造」を実現するための取組を実施する。 ・学力調査結果に基づく学校支援(学習支援員の配置等) ・英語フェスティバルの開催 ・かしこい体づくりスーパーバイザーの派遣 ・松江てらこやの実施(中学生対象補充学習会) ・キャリア教育の推進(会社社長等の出前授業)	16,698,657	13,444,000	全国学力調査における教科の調査項目において都道府県比較20位以内	30位	3. 地方創生に効果があった	追加等更に発展させる	松江市の子ども達がふるさとに愛着と誇りを持つとともに、夢を持ち未来をたくましく切り拓くために必要な資質・能力を育成するためには、生きる力である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」を育てるための本事業を拡充・継続することが肝要と考える。
15	(参考) 中海・宍道湖・大山圏域市長会で検証済 中海・宍道湖・大山圏域観光振興プロジェクト	中海・宍道湖・大山圏域市長会において、以下の取組を実施する。 ・関西圏・中京圏での圏域プロモーション ・圏域インバウンド対策 海外向けテレビ番組制作及び放映等業務 海外クルーズ客船寄港時おもてなしテント整備 ・山陰いいものマルシェプロジェクト ・圏域内企業のビジネスマッチング	20,600,000	20,600,000	①圏域への観光客入込数30,700千人 ②圏域での外国人宿泊客数68000人 ③山陰いいものマルシェ来場者数50000人	①28,487,613人 ②85,250人 ③45,000人	3. 地方創生に効果があった	追加等更に発展させる	平成28年度においては、地方創生加速化交付金を活用し、圏域で連携しながら、①観光客入込数の増加に資する事業、②外国人宿泊客数の増加に資する事業、③山陰いいものマルシェプロジェクトに取り組む。 【追加・発展させる内容】 ●三大都市圏に向けた圏域情報発信の実施 ●圏域の豊かな自然環境を生かした交流人口の拡大につながる取組 ●海外に向けた圏域情報発信 ●外国人観光客の受入体制の整備 ●山陰いいものマルシェの継続開催 ・圏域内での開催 ・都市部での開催 ・海外展開事業の検討 ●山陰いいものマルシェ出展者研修会・交流会の開催
16	大学進出促進事業費補助金	本市への大学進出に向けて必要となる事前調査、準備を行うため、当該大学が設置する事務所の賃借料の一部を補助する(上限200千円/月)。市内に進出しようとする大学の掘り起し・拡大・本格進出に繋げることで、若者の流入拡大・流出抑制と産学官連携による地域活性化を図ることを目的とする。	1,161,290	608,000	補助金申請大学数1大学	1大学	1. 地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	大学進出においては長期的な期間で検討する必要があるため、事業を継続し、関係大学と引き続き協議を行っていく。
17	子どもの学力育成応援プロジェクト事業	学校と教育委員会での安全で正確な情報共有と管理業務の負荷軽減のための校務支援システム構築を行ううち、基本システムとして名簿管理・学籍管理・指導要録機能の開発を行う。	4,772,520	2,607,000	公務支援システムのうち基本システムの運用開始	基本システムの開発終了	1. 地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	校務支援システムを順次機能追加することにより、より校務の効率化、時間短縮化が達成できる。そうすることで子どもたちと向き合う時間を確保できると考える。(システム全体は平成29年度に開発完了予定。)
18	中海レガッタ開催事業	中海の有効活用を実施し、市外からの誘客を図り、賑わいを創出するため、(仮称)中海レガッタを美保関町万原地区で開催する。	9,593,000	4,860,000	大会参加チーム数80チーム以上	56チーム	2. 地方創生に相当程度効果があった	事業の継続	中海・宍道湖・大山圏域での取組として実施していく。(平成28年度より中海・宍道湖・大山圏域市長会で実施予定)

事業効果: 1. 地方創生に非常に効果的であった⇒指標が目標値を上回った 2. 地方創生に相当程度効果があった⇒目標値の7割～8割を達成した
3. 地方創生に効果があった⇒目標値を上回ることにはなかったものの事業開始よりも改善した 4. 地方創生に効果がなかった⇒実績値が事業開始前より悪化した

番号	事業名	事業内容	事業費 (円)	交付金充 当額(円)	本事業終了後における実績値(H28.3.31時点)			実績値を踏まえた事業の今後について(平成28年度～)	
					目標値	実績値	事業効果	今後の方針	説明
19	松江市観光案内アプリ機能向上補助金	外国人観光客の利便性の向上を図るため、松江観光案内アプリ縁結 びスマートナビの言語を現在の英語、国語(簡体字)、韓国語のほかにフランス語、中国語(繁体字)を追加する。あわせてより使いやすく利用してもらうよう機能の改善を図る。	3,780,000	1,925,000	外国人観光入込客数 7万人以上	87,307人	1. 地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる	訪日外国人の利便性向上のため、Wi-Fiスポットを整備する。
20	行政マネジメントシステム構築事業	総合戦略に掲げる取り組みにかかるPDCAサイクルの各段階において必要となる資料作成等に使用する「行政マネジメントシステム」を開発する。	9,698,400	8,800,000	システムの開発	開発終了	1. 地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる	構築が目的ではなく、各事業におけるPDCAサイクル確立の支援ツールとして、また業務の効率化が図れるよう運用していく(平成28年度から運用を開始)。さらに総合戦略以外の他計画にも対応できるよう検討していく。

事業効果: 1. 地方創生に非常に効果的であった⇒指標が目標値を上回った 2. 地方創生に相当程度効果があった⇒目標値の7割～8割を達成した
3. 地方創生に効果があった⇒目標値を上回ることにはなかったものの事業開始よりも改善した 4. 地方創生に効果がなかった⇒実績値が事業開始前より悪化した